

1-2週間家族で地域に滞在する、こども主役の暮らし体験

保育園留学



「おかえり」と迎え入れてくれる場所、
家族のように受け入れてくれる町。

1泊2日の旅行でもなく、新しい場所に転居する移住でもない。観光以上、移住未満。庄内マチと都会のヒトを繋ぐ、本町の新たな取り組み「保育園留学」*。

ちいさな留学生のおおきな発見

本町では、昨年8月から関係人口**創出拡大の新たな試みとして保育園留学に取り組んでいます。園児が留学？と思われる方も多いのではないのでしょうか。保育園留学とは、県外に住む未就学児の子どもと家族が1〜2週間程度、地元保育園に通いながら町の暮らしを体験するものです。「旅行」ではなく、あ

くまでこの町で「暮らす」。だから、留学なのです。みんなと同じように保育園に通い、お昼寝をして、虫取りをして、時には親子行事に参加をする。「また明日ね、ばいばい」をして、スパーに寄って、宿に帰る。そしてまた次の日には、昨日初めて会ったお友達と保育園で会う！

私たちと同じような生活しながら、私たちでは気づけない発見をしてくれるちいさな留学生は、農作業中のおじちゃん、カエルの鳴き声、河童の銅像、冷たい風や雪：見るもの聞くもの触れるもの全てが新鮮でももしろくて仕方がありません。私

たちが普段何気なく過ごしている日常のあれこれを、ちいさな留学生は魅力として再認識させてくれます。

「また行きたいなあ、カエル捕まえる保育園…」親戚のような関係で庄内町のファンに

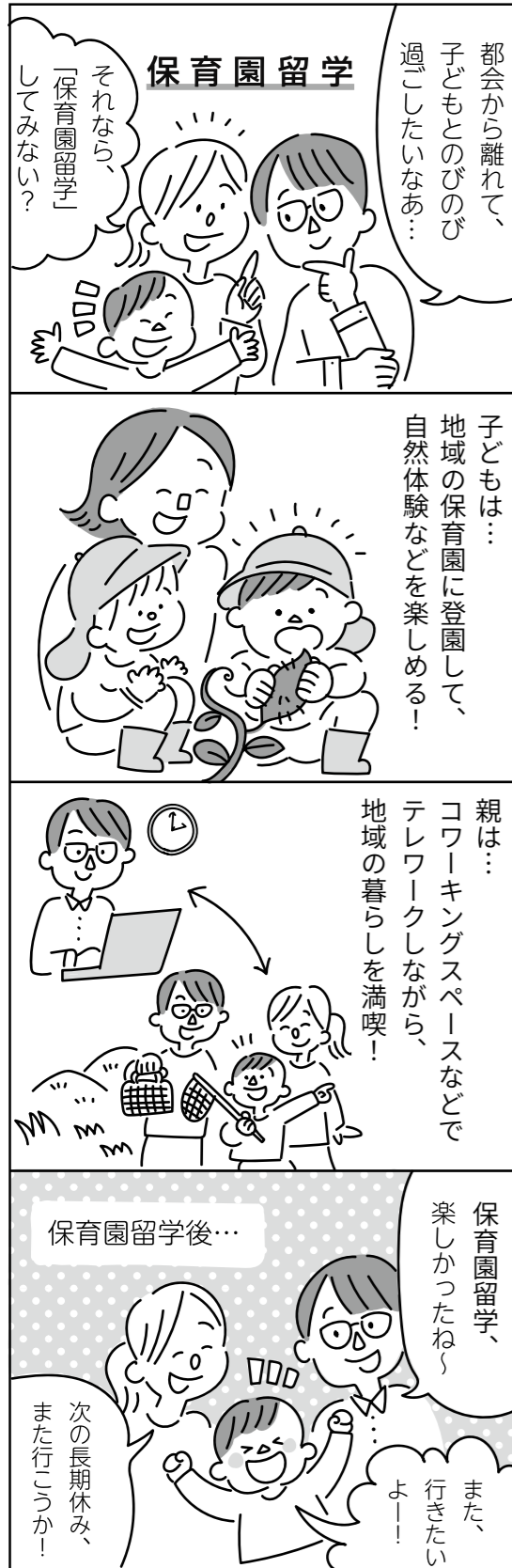
保育園留学は最長2週間。短期間の暮らし体験だからこそ、旅行以上にヒトの繋がりをもち、移住以上に一期一会を大切にします。「また来るね」「またおいで」と親戚のような関係を築き、庄内町のファンを増やすことが関係人口創出への第一歩であり、そのきっかけが保育園留学だと考えます。

新たな関係人口創出拡大の試み、保育園留学。ぜひ、ご注目ください！

*1(株)キッチハイクが提供する、地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラム。

**2移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉。

保育園留学は、
家族向けのお試し移住プログラム！



地域と家族をつなぐ保育園留学は、
関係人口の創出が期待できます。
他県では移住につながった例も！



庄内町の保育園留学や
移住関連についてcheck!

保育園留学
庄内町の詳細ページ



(株)キッチハイクと連携し、制作された特設ページ。これまで参加された方のインタビュー記事も掲載しています。



庄内町
移住支援サイト



庄内町の移住・定住に関する情報をまとめているサイト。移住者インタビューや、庄内町の暮らしがわかるYouTube動画などを掲載しています。



庄内町の保育園留学
お問い合わせはこちらまで

企画情報課 移住定住係
TEL 0234-42-0228
E-mail jju@town.shonai.yamagata.jp

認定こども園からふる／園長 松田透

離れた地域からの新しい友達 子ども達は楽しみに

これまで5家族が来町し、主に0歳児の保護者からの申込みがたくさんありました。小さいお子さんの保護者の方は、日ごろの子育ての忙しさから解放されてゆっくと庄内での生活をエンジョイしているようです。また、幼児舎の子ども達は、離れた地域からやってくる新しい友達と出会うことを喜んでます。2回目の来町となったアードレイ春斗ちゃんを子ども達はとっても楽しみにしていました。1月末にはシンガポールからの留学もあり、他の地域のことを知り、子ども達の心が大きく成長することを期待しています。



▲初めての留学生となった春斗ちゃん。あっという間にお友達と打ち解け、虫捕りや芋掘りなど、元気いっぱい過ごしました。



▲認定こども園からふるでは、子ども達が自分のやりたいことにのびのび取り組めるよう、柔軟な保育・教育を行っています。

子育て応援課／課長 加藤美子

保育園留学への期待とこれから

子育て応援課では、「保育園留学」を実施するにあたり、実施施設は町内唯一のこども園となる「認定こども園からふる」が最適だろうという思いで、協力をお願いし保育園留学の実施に向けスタートしました。

事業の実施により、都会から来られる子どもにとっては、広々とした園庭で走り回れることや、自然に触れ合うことで心豊かな体験ができ、生きる力を育む良い経験になると感じています。

さらに、からふるの子どもたちにとっても、違う環境で生活する子どもたちと触れ合うことで、子どもたちの興味や好奇心が増す刺激的な体験をすることができ、1人ひとりの個性を認める力を伸ばすことにつながるとい、良い影響が考えられます。

実際、利用者からのお話を伺うと、「また行きたい」や「楽しかった」などとても嬉しい声をいただいております。これも「認定こども園からふる」において「1人ひとりを大切に、豊かな自然の中で、子どもたちが子どもたちらしく生きる力を育む」という教育・保育を実践し、1週間という短い留学期間の中で、様々な経験や体験を提供していただいているおかげだと思っています。

今後も保育園留学を通して、関係人口の創出やファン獲得、さらには移住定住に繋がるよう、今後も全国の子育て世帯にPRしていくことができればと考えています。



アードレイ・サイモンさん
知沙さん
春斗ちゃん(4歳)
海斗ちゃん(7か月)
※インタビュー時の年齢

保育園留学を利用したご家族にうかがいました。 庄内町の保育園留学はいかがでしたか？

庄内町に来ていかがでしたか？
1週間の滞在でしたが、庄内町の人の温かさにたくさん触れることができました。行く前は子どもたちより私の方が緊張や不安でいっぱいでしたが、空港から宿まで町職員の方が先導してくださったり、園では園長はじめ先生方が出迎えてくださったりしたおかげでもとても安心しました。さらに宿のオーナーも

保育園留学先に庄内町を選んだ理由は何？
自然が豊かでのびのびと体を動かせる場所に行かせたいと思っていました。いくつか候補がありその中でも「認定こども園からふる」は、留学について不安に思っていることをとても親身になって話を聞いてくださいました。また、園児数に対して先生の人数も多く、きめ細やかな対応をしてくださる環境だったので庄内町に留学することを決めました。

普段は東京のインターナショナルスクールに通う春斗ちゃん、まだ保育園に通ったことがない海斗ちゃん。本町にとつて初めての保育園留学、アードレイさんご一家にインタビューをしました。

おかえりなさい、庄内町へ！
来年の秋休みにまた来てね！と約束したアードレイ家が、なんと、12月に2回目の保育園留学に来てくれました！

こども園での生活はいかがでしたか？
息子にとって全く知らない土地で新しいお友達の輪の中に入ること、とても勇気のいることだったと思いますが、園のお友達が優しくしてくれてすぐに仲良くなりました。お友達と一緒に昆虫のお世話をしたり、親子行事で近くの山までハイキングしたり、保護者の方とも仲良くさせていただけました。なにより先生方がとても親切で、毎日、息子たちの様子や出来事を写真付きでまとめてくださって、どんな様子だったかお話ししてくださるんです。息子たちのいいところをたくさん見つけてくれる先生方でした。

親切な方で、到着日には買い物に付き添ってくれたり困ったことがあればすぐに対応していただきました。



初めての餅つき挑戦！



▲つきたてのお餅で丸餅作り



▲体験後、郷土料理を楽しみました